

## 第2章 環境基本計画

### 第1節 計画策定の目的

第4次三田市環境基本計画は、三田市の環境に関わる課題を見つめ直し、これまで理想としてきた「人の環（わ）で自然と暮らしを紡ぐまち 三田」の実現に向けて、今後の新たな5年間を見据えた環境の保全と創造に関する施策の指針として策定しました。

### 第2節 計画の位置付け

第4次三田市環境基本計画は、「三田市環境基本条例」に基づき、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画であり、三田市の最上位計画である「第5次三田市総合計画」を、環境面から総合的かつ計画的に推進するための計画です。

また、国・県の環境基本計画の内容を踏まえるとともに、三田市の関連する各種計画との整合を図りつつ、三田市が展開する事業や施策、市民・事業者等の環境に配慮した行動や活動に対して基本的な方向性を示す計画です。

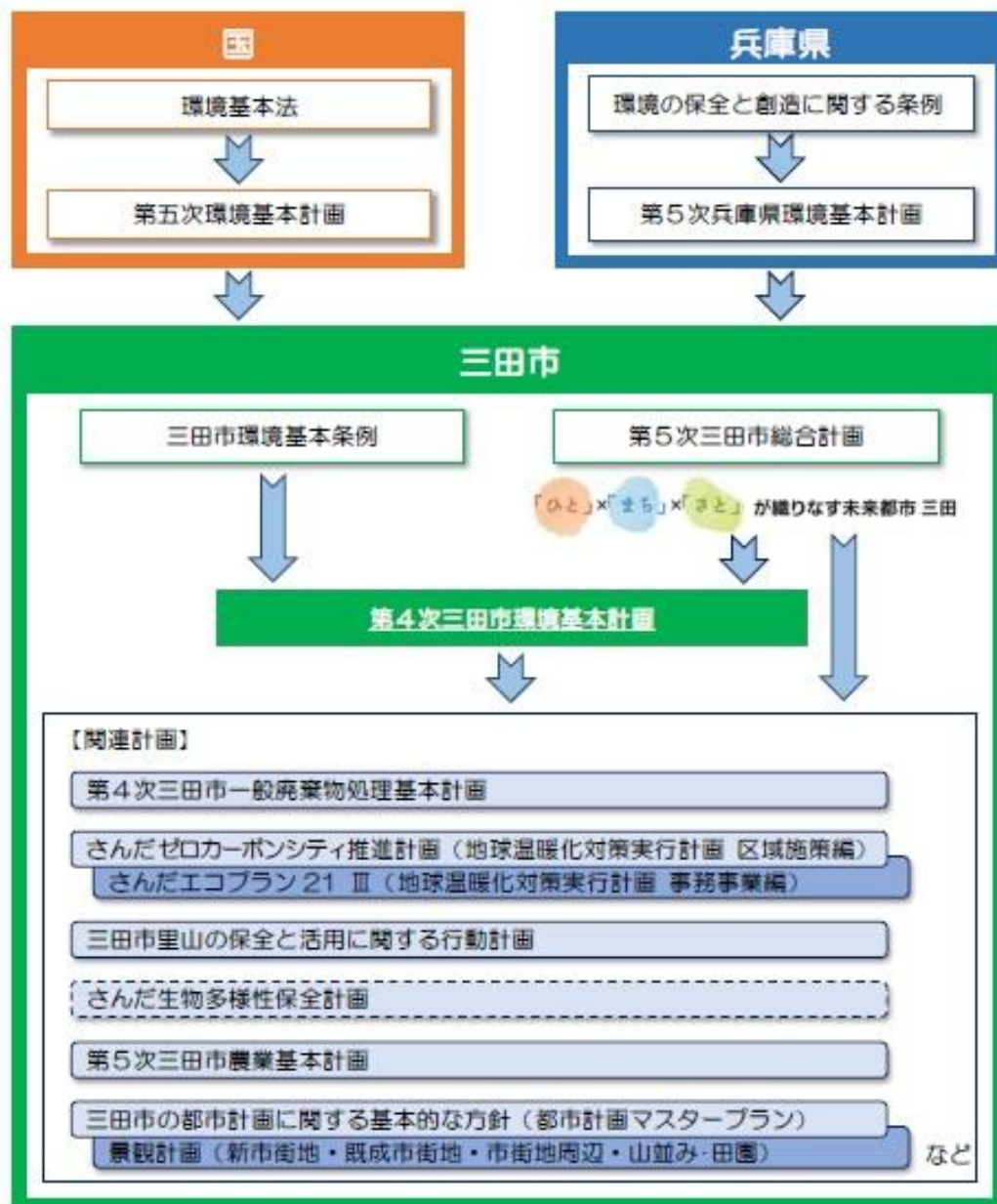


図 第4次三田市環境基本計画の位置づけ

### 第3節 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

計画名		R5	R6	R7	R8	R9
第4次三田市環境基本計画（R5～R9）		←—————→				
第5次 三田市総合計画	基本構想（R4～R13）	—————→				
	基本計画（R4～R8）	—————→				

### 第4節 三田市の環境将来像

「人の環（わ）で自然と暮らしを紡ぐまち 三田」

豊かな自然環境を次代に引き継ぎ、多様なパートナーシップのもとで三田らしい持続可能な社会の構築を目指すとした前計画の基本理念を踏襲し、新たな社会情勢等の内容も踏まえて、目指す環境将来像を設定しています。

### 第5節 計画の基本方針

#### （Ⅰ）『参加・協働・共創』

～一人ひとりがあるべき将来像を共有し、パートナーシップをはぐくむまちをつくる～

持続可能な社会の実現を目指すためには、地域で暮らし、働き、学ぶ、子どもから大人まで全ての人が目指すべき将来像を共有し、一人ひとりが環境を身近な課題として考え、主体的に行動し（協働）、誰もが快適に暮らし続けることができる環境を共に創る（共創）が必要です。今後、人々の行動変容につながるよう啓発、学習の取組を展開していきます。また、このような取り組みを通じて幅広い分野でより多くの担い手となる人材を育成することにより、環境保全活動の環を一層広げていきます。

#### （Ⅱ）『自然共生社会』

～四季折々の恵みをもたらす豊かな自然に感謝し、人と自然が共生できるまちをつくる～

三田市の北部に連なる山々や、武庫川をはじめとする多数の中小河川は、三田市の自然環境の豊かさを物語っています。県下でも貴重な皿池湿原をはじめ、河川流域に点在するため池など、数多くの水辺環境が残されています。このような自然環境は多様な生き物を育む基盤となっており、これらと調和した環境を将来に向けて守り育てるため、まずはその恵みに感謝し、人と自然が共生できるまちを目指した取り組みを進めていきます。

#### （Ⅲ）『循環型社会』

～限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷が少ないまちをつくる～

三田市は、これまでも廃棄物の発生抑制（リデュース/Reduce）、再使用（リユース/Reuse）、再生利用（リサイクル/Recycle）の3Rを軸として、「循環型社会」づくりに取り組んできました。今後も引き続き3Rに取り組んでいくとともに、水についてもその考え方に沿って節水や雨水利用等を促進し、限りある資源の消費を抑えた環境負荷が少ないまちを目指した取り組みを進めていきます。

#### （Ⅳ）『脱炭素型社会（ゼロカーボンシティ）』

～一人ひとりがライフスタイルを見直し、地球温暖化抑制に貢献するまちをつくる～

温室効果ガスの増加に起因する気候変動は、自然災害の頻発化・激甚化や農林水産物、自然生態系

への影響など、私たちの生活に確実に影響を及ぼしつつあり、その対策は世界共通の喫緊の課題となっています。このような現状を踏まえ、三田市では 2021 年にゼロカーボンシティへの挑戦を表明し、「さんだゼロカーボンシティ推進計画」を 2023 年に策定しました。今後、市を挙げてあらゆる事業を展開することにより、推進計画が目標とする 2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けて、着実な歩みを進めていきます。

#### (V) 『安全・安心・快適』

～笑顔にあふれ、安らぎやふるさと感じる美しいまちをつくる～

公害の未然防止に努める一方で、様々な環境リスクに対応することで安全・安心な環境の基盤を確保した上で、誰もが高い環境意識・美化意識を持ち、お互いを思いやりマナー、モラルを守ることで良好な住環境の維持を図ります。そして、まちの魅力や地域資源を守り育てることにより、安らぎやふるさと感じられる美しいまちを目指した取り組みを進めていきます。